

## 「令和3年度 第3回学校運営協議会」について

3月1日に予定しておりました「第3回学校運営協議会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面にて開催しました。

委員さんに行った学校評価アンケートは、すべての項目において、「Aそう思う」「Bどちらかといえばそう思う」という評価をいただきました。今後もさらに充実した取組ができるよう努めて参ります。

各委員さんから、以下のようなご意見をいただいております。

- 子供達の挨拶等が良くなっていると思う。
- 最近子どもたちの登校時の挨拶がよくなっております。
- 不登校、登校しぶりにも協力頂き、助かりました。その他も子供達の事をしっかり考えて頂いている事に感謝しております。
- 学校運営協議会の内容・会の持ち方など参考になりました。コロナ禍で様々な制約がある中での教育活動ですが、今後も小・中連携、地域等ともつながりながら、児童生徒の健やかな成長につなげていければと思います。大変お世話になりました。ありがとうございました。
- コロナ禍でも、地域の皆さまと協力していろいろな事業を実施され、つながりもできて良かったです。
- 小島商店さん前にお借り出来ている駐車場を、次年度はさらに保護者や子供達に周知し、有効活用出来るよう声かけ続けて下さい！
- 厳しい意見がある中、学校や先生方への感謝・応援の御意見を読み、心が温かくなりました。地域は学校や先生方への協力を惜しみません。
- 学校以前に家庭の躰が大切。朝の登校時での挨拶に子どもたちの今の状況が現れている。8～9年ずっと見守らせて頂き、結論付けています。表情、声、しぐさ、態度などにその人の行動の出発点があります。教育の根幹は、「誰が」と「何か」とつながることです。『人の一生の話』『「令」の教育』など、総合学習の中で答えのない問いに立ち向かう教育も大切です。子どもたちは百人百様の能力を持っています。能力と学力は別の問題です。子どもたちの学びたい気持ちを育て、くすぐって下さい。因に、将棋の藤井さんは、10代ですばらしい能力を示しています。しかし、藤井さんの住んでいる地域の学力は低い位置にあるそうです。教育は「その気」にさせることです。